

埼玉アスレチック 抄録

スポーツでの頭部外傷

ー最近の話題ー

東京慈恵会医科大学

脳神経外科

谷 論

脳損傷はスポーツにおけるアクシデントとしては最悪のものです。このなかでは致命的になり得る急性硬膜下血腫と脳震盪が問題です。今回はこの二つの外傷に関して、最近注目されていることなどをとりあげ、皆さんと問題点を共有したいと思っています。

最悪のアクシデントである急性硬膜下血腫は、部活動を含む教育現場で柔道やラグビーでの際に多く発生していることが明らかとなりました。中学での武道の必修化の問題もあり、現状から予防対策まで紹介致します。

脳震盪は急性硬膜下血腫に比べれば可逆的な神経機能の障害と考えられてきましたが、実際には種々の問題を生じることが判ってきました。いつまでも頭痛やめまいなどが続いたり、再開するとわずかなことで頭痛などを生じたり、そして、のちのち認知機能が低下してくる慢性脳損傷が稀ならずあることなどです。

スポーツは若者の身体・精神発達にとっても良いことは明らかです。しかし、このような事故で将来の日本を支える力が失われてしまうことは避けなければなりません。みなさんで事故予防に取り組めればと思っています。